

令和6年度「ぐんま教育フェスタ」実施報告

1 日時 令和7年2月1日(土)

2 会場 群馬県総合教育センター

3 対象 県内教職員及び教育関係者等

4 内容

(1) オープニング

(2) 係研究発表

- ・基調提案
- ・長期研修員
- ・日本語指導スーパーバイザー(JSV)
- ・長期社会体験研修員

(3) 特別発表

- ・インクルーシブ教育の推進
- ・デジタルアーツ教育の推進

(4) 特別講演

演題：『おとなのココロ、子どもの笑顔「ごきげん」な関係で、子どもは伸びる』

講師：辻 秀一 スポーツドクター・株式会社エミネクロス代表

(5) 特別コーナー

- ・特別研修員研究内容概要版
- ・ぐんま教育賞受賞に係る情報

5 参加者数

オープニング・研修員発表 420名

特別講演 350名

特別講演オンライン・オンデマンド配信視聴者：139名

6 参加者のアンケートから

(1) 係研究発表について

- 各係研究発表は、とても温かい雰囲気だと感じました。今までの長期研修とは研究の仕方が異なっており、驚きましたが、提案性のある取り組みで大変勉強になりました。また、「おしゃべり」をしたことで発表を聞くだけでなく、みんなで考えたことが大きな学びにつながりました。
- 長期研修員の発表前に、各係指導主事からの概要説明が取り入れられたことによって、研究の背景が参加者によく伝わっていたと思う。チーム研究というスタイルについても教育課題がよく伝わってよい。

(2) 特別講演について

- 「スラムダンク勝利学」を読み、とても参考になったので、今回の特別講演をととても楽しみにしていました。改めて、過去や未来、結果等ではなく、自分の内なる声、感情に目を向けて、今を精一杯生きることが大切と思いました。講演の中で語られた8つの「ライフスキルの思考」を整理し、本校職員にも伝えたいと思います。オンデマンドで配信があると聞いています。職員にも紹介したいと思います。
- 自分の心をごきげんな状態にすることで仕事のパフォーマンスがあがること、教職という立場はいつも児童生徒を相手にするので機嫌よくいることが相手にとっても大切と感じた。

(3) その他

- 時間が長すぎず、短すぎずどの講演も発表も見たくなるものでした。
- レイアウトが素敵だと思いました。センターの入り口に入るなり、ワクワクしました。発表に合わせて行ったのですが、もっと早く行っていろいろな係を見て回りたいと思いました。